



あったか便り

2月3日の日曜日、あったかほ一むにて、豆まきをしました。今でも豆まきをしている家庭は少なくなりだんだんと伝統の行事が廃れていくのは、寂しいですね。子供たちはとても、喜んで豆まきしていました

<p>1 1月行事</p> <p>5日・・・さつまいも堀</p> <p>11日・・・ふれあい広場参加</p> <p>17日・・・さつまいも堀と料理作り</p> <p>18日・・・けん玉大会</p>	<p>1 2月行事</p> <p>9日・・・あったかクラブ誕生日会</p> <p>15日・・・餅つき大会</p> <p>22日・・・祝賀会・忘年会</p> <p>29日・・・大掃除</p>	<p>1月行事</p> <p>15日・・・くらし支え合いNPO・地域活動支援フォーラム</p> <p>23日・・・あったかほ一むコーディネーター等研修</p>
--	--	---

あったかクラブ会員さんの誕生日会



いつもは、食べるだけのクラブ会員さんが、この日だけは、エプロン姿で汗をかきかき「昔、よう焼いたな」と言って上手にコロコロと裏返し、食べられない程、沢山のたこ焼きができました。全部食べられるだろうか？と不安でしたがあっという間に完食少々食べ過ぎの人もいたようです。帰りは、それぞれが重たいお腹を抱えて笑顔で帰って行きました。

夏休みにインターンシップにこられた学生さんの感想

今回あったかほ一むいしべ宿でボランティアとして参加し1ヶ月と短期間でしたが、沢山の人の関わりコミュニケーションをとるのが「こんなにも楽しいのか!」というのを体感して夏休みに良い思い出作りが出来ました。



最近の「道路特定財源論議」で思うこと
 今の国会の最大の争点は、道路特定財源としての揮発油税暫定税率の10年間延長(与党側)が暫定税率廃止ないしは一般財源化(野党側)の問題のようです。昨年の参議院選挙以来の「ぬじれ国会」の中で、政権の延命をめざす与党側と政権交代をめざす野党側のそれぞれの思惑でさまざまな対立点が浮き彫りにになり、有権者の一人としては「おもしろいな」と観戦しています。その中で特に政府自民党の道路族と国土交通省あるいはこれを支える関連業界の「粘り強さ」が印象的です。財政再建を図るために、国でも自治体でもここ数年で道路をはじめとする大型公共事業が大幅に減少してきたと思っていましたが、どうやら「死んだふり」をしていただけのようです。

それはさておき、この議論を聞いていてふと感じる事は「受益と負担」の問題です。ガンリン代等に上乗せをして税金を負担しているのに、利益は道路を利用する人だけが受けるべきであるという「わかりやすい考え方」です。これは特定財源維持派の大きな論点となっているようですが、とても「さびしく怖い考え方」ではありませんか。

私たちは所得税や法人税あるいは消費税等々、何のために高い税金を国や自治体に払っているのか。それは福祉や教育や環境や社会基盤の整備などのように市場や商品になじまない公共的なサービスを、国や自治体が国民の声にこたえてバランスよく提供するため、あるいは所得では大きな格差が発生するので、税負担により所得の再配分を行い格差の縮小を図るためではなかったのでしょうか。これもやハンデのある人やお年寄りや生活できない人たちが、「お金の心配をせずに」公的な福祉サービスを利用できるように税金を払っているのです。それが「福祉国家」だと私たちは思ってきました。

受益と負担を直結する考え方や使い道を特定した税金がこれ以上幅をきかしたら、公的な福祉制度はますます「肩身の狭いもの」になってしまいそうでたいへん心配です

檜山真理

あったか 実施サービス

<子育て支援>

親子サロン・幼児一時預かり・学童保育

<シルバー生きがい支援>

シルバーボランティア・高齢者による子育て支援

<余暇かつどう支援>

あったか倶楽部

<その他のあったかの活動>

趣味のサークル・ボランティアグループの会議等
 地域の方の色々な活動にお使い頂きます

最近私たち大人は、日々忙しく、時間に追われる生活を送っています。子どもも塾に行ったりして忙しく、双方がゆっくり過ごす時間がないように思います。子どもは、私たち大人に話を聞いてほしいかもしれない。一緒に遊んでほしいかもしれない。私も最近忙しく話をゆっくり聞いてないかと反省。これからは一日10分でもいい時間があれば、話をきいてあげたいなと思います



インターンシップに来られた学生さんの感想文が
 今回の号では全部乗せられませんでした。次回掲載させていただきます。

あったかほ一む：いしべ宿 湖南省石部東7-5-9
 (TEL.FAX 0748-77-6723)